

JAMSTEC SAFETY&ECO REPORT 2015 安全・環境報告書 2015



JAMSTEC 国立研究開発法人
海洋研究開発機構
JAPAN AGENCY FOR MARINE-EARTH SCIENCE AND TECHNOLOGY

JAMSTEC

SAFETY & ECO-REPORT 2015

理事長ごあいさつ	1
安全・環境報告書 2015 のご案内	2
○特集 東北海洋生態系調査研究船「新青丸」	4
JAMSTEC TOPICS 2014	11
I. JAMSTEC の概要	14
1. 事業概要	
2. JAMSTEC の研究・開発・推進事業	
3. 組織構成	
4. 経営指標	
5. 沿革	
II. 安全衛生及び環境配慮のマネジメント	29
1. 安全衛生及び環境配慮のための体制	
2. 委員会とその任務	
III. 安全への取組み	34
1. 労働安全衛生の取組み	
2. 危険性を有する物品・生物の管理	
3. 事故・トラブルへの対応	
4. 防災への取組み	
IV. 環境への取組み	44
1. JAMSTEC のマテリアルバランス (2014 年度)	
2. 主要な環境パフォーマンスデータの推移	
3. 各拠点の環境パフォーマンスと取組み	
4. 環境配慮活動の目標・実績・評価	
5. 環境に配慮した調達・契約	
6. いろいろな環境配慮活動	
7. 環境に関わる研究紹介	
V. 社会的取組み	59
1. 組織統治	
2. 労働慣行	
3. 社会貢献	
4. 国際協力・外部機関との連携	
5. 表彰・顕彰	
VI. コミュニケーション活動	67
JAMSTEC のイベント	
安全・環境報告書の評価	69
◇第三者による検証	
◇第三者意見	



JAMSTEC では海洋への関心が高まっている今日、未来を担う子供達のもつ海洋への夢や憧れ、興味をさらに高めるために、全国の小学生を対象とした「ハガキにかこう海洋の夢コンテスト」を毎年実施し、2014 年度で 17 回目を迎えました。募集する部門は、「絵画部門」「CG 部門」「アイデア部門」の 3 つです。
本報告書の表紙は第 17 回コンテストの入賞作品の一部をデザイン化し作成しました。

ジャムステック・トリビア
JAMSTEC・TRIVIA

2014 年のテーマ：小中学生向けの JAMSTEC 刊行物および協力書籍・DVD

◇学研のクイズ図鑑 深海生物のクイズ図鑑	◇深海生物大事典
◇くじら号のちぎゅう大ぼうけん	◇子供の科学サイエンスブックス 深海の不思議な生物
◇つくつて あそんで・学ぶ 海と地球のペーパークラフト	◇深海と深海生物 美しき神秘の世界
◇日本の海産プランクトン図鑑 (DVD 付き) 第 2 版	◇海のプロフェッショナルへ 海洋学への招待状へ
◇深海 鯨が誘う もうひとつの世界	海のプロフェッショナル 2 ～楽しい海の世界への扉～
◇ぼくは「しんかい 6500」のパイロット	◇梅雨前線の正体 (新しい気象技術と気象学)
◇海中大探検! しんかい 6500 で行く深海への旅	◇ JAMSTEC カレンダー
◇海洋地球研究船「みらい」とっておきの空と海	◇海と地球の情報誌 Blue Earth

理事長ごあいさつ



私ども海洋研究開発機構は、「海洋・地球・生命の統合的理解への挑戦」を目標に掲げる研究所です。そのような立場から近年我が国で発生する自然界の現象に視点を向けると、日本列島は時々刻々と変化する「地球」というものを体感することのできる場所であるということを改めて実感できます。

2011年3月11日に東日本大震災が発生しました。一昨年11月に小笠原諸島・西之島南東沖の噴火で新たな陸地が誕生し、現在も活発な噴火活動が続いています。昨年9月には長野県と岐阜県に跨る御嶽山が噴火し、戦後の火山災害としては最悪の被害が発生するという極めて悲痛で衝撃的な結果となりました。今年に入りましてもお6月に神奈川県箱根山・大涌谷で噴火が発生し、噴火警戒レベルが3（入山規制）に引き上げられましたし、鹿児島県の口永良部島や桜島の噴火なども記憶に新しいところであります。これらの災害に被災された皆様には心からお悔やみを申し上げます。

当機構におきましても関係機関と連携し、6月に西之島周辺海域の海底面の撮影や海底地形調査、海底にある溶岩試料の採取、西之島の噴火活動で噴出した火山灰の採取等の調査を行ったところであり、その成果を広く我が国の安全・安心に貢献できるよう、尽力させていただいているところであります。

さて、当機構は、独立行政法人通則法の改正（2014年6月13日）に伴い、本年4月1日から我が国の科学技術の水準の向上を通じた国民経済の健全な発展その他の公益に資するため、研究開発の最大限の成果を確保することを目的とした「国立研究開発法人」になりました。今後は研究開発型の法人として研究開発成果の最大化を図りつつ、効率的かつ効果的な業務運営を行い、世界の海洋科学技術の中核機関としての立場を一層明確なものとし、世界及び我が国の関係機関とより強固で有機的な連携・協力関係を構築しながら、

人類的課題の解決や我が国の将来にわたる持続的な成長と社会の発展を実現するための研究開発を推進いたします。

この私どもに課せられた使命を達成するために不可欠な一つの要素として、安全や環境に配慮する意識を組織として高め、実行することが挙げられます。安全を犠牲にする組織運営には何ら意味はなく、安全こそが組織の第一義的な目標であり、研究開発、技術開発、船舶等の運用に携わる研究者、技術者のみならず全ての職員が安全第一で業務に取組み、同時に環境に配慮することで環境に優しい研究所を目指して参りたいと思っております。しかしながら昨年度、当機構では火災に繋がりがかねない事象が数件発生しており慙愧に堪えません。そこで私どもはこれらに鑑み、さらには安全の追求と再発防止、そして自戒の意味も込め、今年度発行する報告書から、これまで「環境報告書」として公表して参りましたところを「安全・環境報告書」と改称し、決意を新たに報告書の内容を精査・刷新致しました。

つきましては、昨年度発生した事故・トラブルの情報や安全への取組みについても掲載させていただいておりますので、ご高覧頂ければ幸いです。

また、特集では2013年6月に建造造船所から当機構に引き渡され、海上試験及び慣熟訓練を経て、同年12月から東北地方の復興に貢献すべく本格的に活動を開始した当機構最新の研究船である東北海洋生態系調査研究船「新青丸」についてご紹介しておりますので、併せて是非ご覧ください。

当機構は「自由闊達にして愉快であり、かつ日本、そして世界から本当に必要とされる研究所、叡智と人類愛にあふれた豊かな文化創造の研究所」を目指しています。冒頭申し上げました火山活動の事例にもありますように、我々の暮らしのあらゆる方面について、安全・安心そして環境保全は最も優先されるべきことであろうと思います。このような社会のニーズを常に念頭に置きながらこれからも研究・開発業務を進め、その成果を海洋地球生命科学の発展のみならず、防災を始めとしたあらゆる分野に対し提供するなどして社会に広く還元してゆく所存です。また、実際の業務に際しましてもゼロ災害を希求し環境に配慮しつつ、真に皆様から必要とされる研究所となれるよう緒活動を推進して参りますので、今後とも皆様のご支援、ご協力を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

平成27年9月30日

国立研究開発法人海洋研究開発機構

理事長 平 朝考

安全・環境報告書 2015 のご案内

JAMSTEC SAFETY & ECO-REPORT 2015 INFORMATION

<はじめに>

JAMSTEC SAFETY&ECO-REPORT（国立研究開発法人海洋研究開発機構“安全・環境報告書”）は、環境配慮促進法の規定に基づき発行するもので、国立研究開発法人海洋研究開発機構（Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology: JAMSTEC / ジャムステック）の事業活動に伴う環境への負荷量や、その負荷を低減させるための取組みなど、環境パフォーマンスの概要をまとめた報告書です。

また、今回はじめて JAMSTEC の安全に関する姿勢や取組みをご紹介するとともに、実際に発生した事故・トラブル等についても掲載しています。

さらに、社会的取組みとして、リスクマネジメントや社会貢献活動等についてもご紹介しています。

継ぐとともに、『東北マリンサイエンス拠点形成事業』に必要な研究を最先端の観測機器・研究設備により、効率的・効果的に推進するために建造されました。本報告書にて特集としてご紹介しています。

◆ JAMSTEC についての豆知識をご紹介

『JAMSTEC・TRIVIA』というコラム欄を設け、JAMSTEC に関する豆知識をご紹介しています。今回のテーマは「小中学生向けの JAMSTEC 刊行物および協力書籍・DVD」です。

◆ WEB による公開

多くの皆様に JAMSTEC の活動について知ってもらいたいと考え、本報告書をホームページ上で公開しています。

<報告書の特色>

◆ 研究・開発成果のご紹介

本報告書では安全衛生活動及び環境パフォーマンスのデータの開示に加え、最新の研究・開発の成果などをご紹介し、JAMSTEC の活動をより多くの皆様にご理解いただけるよう心がけて作成しました。

◆ 東北海洋生態系調査研究船「新青丸」のご紹介

「新青丸」は、2013年1月に退役した学術研究船「淡青丸」の後継船として、同船が担ってきた役割を引き

<編集の方針>

この報告書の編集に当たっては、以下の方針に従って編集を行いました。

◆ 対象組織

JAMSTEC の全事業所（横須賀本部、横浜研究所、むつ研究所、高知コア研究所、国際海洋環境情報センター、東京事務所）及び全研究船の事業活動を対象とし、記載しています。

JAMSTEC
TRIVIA



1. 学研のクイズ図鑑 深海生物のクイズ図鑑

土田真二 監修 / 学研教育出版刊

ダイオウイカ、ダイオウグソクムシなど、深海には不思議な生き物がいっぱい！ 迫力ある写真とイラストで深海の世界を楽しみながら 100 問のクイズに挑戦しよう。持ち運びに便利な文庫サイズの人気ミニ図鑑シリーズです。



◆ 記事の対象期間

2014年度のデータを記載しています。ただし、環境配慮活動などの取組みについては、日付を記載した上で一部最新の情報を記載しています。

◆ 記載した分野

JAMSTECにおける安全及び環境に関連した内容を記載しているほか、社会的取組みについても記載しています。

◆ 発行年月日

平成 27 年 9 月 30 日

◆ 次回の発行予定

平成 28 年 9 月

◆ 作成に当たって準拠したガイドライン

環境報告ガイドライン 2012 年版（環境省）に準拠して作成しました。

◆ お問い合わせ先

国立研究開発法人海洋研究開発機構
安全・環境管理室

〒 237-0061

神奈川県横須賀市夏島町 2 番地 15

電話：046-866-3811 (代)

046-867-9118

(安全・環境報告書担当直通)

F A X：046-867-9105

e-mail：kankyo@jamstec.go.jp

JAMSTEC ホームページ URL：

<http://www.jamstec.go.jp/>

安全・環境報告書掲載ページ URL：

<http://www.jamstec.go.jp/j/about/environmental/report.html>

ジャムステック・キャラクターズ



ロッキー



ニッキー



ウーラー



アンジー

JAMSTEC TRIVIA

2. くじら号のちきゅう大ぼうけん

佐藤孝子 文, 阿部伸二 絵 / ミュール刊



主人公はくじら号に乗って、深い海から宇宙まで大冒険をすることになりました。海から出発した、主人公が最後に見たもの、それは一体…。

実際に潜航経験のある研究者だからこそ書ける世界観。研究者であり、母である筆者が子供たちのためにこだわりにこだわった渾身の1冊です。深海のスケールに子供だけでなく、大人もドキドキワクワクしながら、たろうと一緒に深海への旅が楽しめます。





JAMSTEC 国立研究開発法人
海洋研究開発機構
JAPAN AGENCY FOR MARINE-EARTH SCIENCE AND TECHNOLOGY